

平成 27 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 日本郵船株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 内藤 忠顕  
 コード番号 9 1 0 1  
 上場取引所 東証・名証各第一部  
 問 合 せ 先 経営委員 IRグループ長  
 宮本 教子  
 (TEL. 03-3284-5151)

**第 2 四半期連結業績予想値と実績値の差異並びに  
 通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ**

平成 27 年 7 月 31 日に公表した平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）の連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。  
 また、同日に公表した通期業績予想及び期末配当予想を、以下のとおり修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

記

**1. 第 2 四半期連結業績予想値と実績値の差異について**

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想値と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 27 年 7 月 31 日)	百万円 1,200,000	百万円 40,000	百万円 45,500	百万円 35,000	円 銭 20.64
今回発表実績 (B)	1,198,297	38,623	42,711	54,768	32.29
増減額 (B-A)	△1,703	△1,377	△2,789	19,768	
増減率 (%)	△0.1%	△3.4%	△6.1%	56.5%	
(ご参考)平成 27 年 3 月期第 2 四半期実績	1,179,098	27,896	36,738	20,002	11.79

差異の理由：

上期に構造改革に係る費用の計上を見込んでおりましたが、当該費用の発生が下期以降に遅れるため、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想値を上回りました。

**2. 通期連結業績予想の修正について**

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 27 年 7 月 31 日)	百万円 2,400,000	百万円 84,000	百万円 90,000	百万円 55,000	円 銭 32.43
今回修正予想 (B)	2,370,000	75,000	80,000	47,000	27.71
増減額 (B-A)	30,000	△9,000	△10,000	△8,000	
増減率 (%)	△1.3%	△10.7%	△11.1%	△14.5%	
(ご参考)平成 27 年 3 月期実績	2,401,820	66,192	84,010	47,591	28.06

※ 業績予想の前提（通期）

為替レート（今回）120.88 円/米ドル （前回）120.24 円/米ドル  
 燃料油価格（今回）311.85 米ドル/MT （前回）351.93 米ドル/MT

修正の理由：

コンテナ船部門は特に欧州航路の荷況が弱含み船腹供給圧力も依然根強く、ドライバルク部門は中国経済の

減速等の影響を受け市場心理が改善されず、厳しい事業環境が続くと見込まれるため、それぞれ前提を下方修正し、通期連結業績予想を上記のとおり見直すことといたしました。

### 3. 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想（平成27年7月31日）	4円00銭	4円00銭	8円00銭
今回修正予想		3円00銭	7円00銭
当期実績	4円00銭		
平成27年3月期実績	2円00銭	5円00銭	7円00銭

修正の理由：

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つとして位置付け、連結配当性向25%を目安とし、業績の見通し等を総合的に勘案し利益配分を決定しております。  
上記2.において通期連結業績予想を修正したことに伴い、期末配当金を3円とし、年間配当金を7円とする予定です。

(注)上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。

以 上